



佐高

スーパー グローバル ハイスクール

SGH通信 2020

No.11 (2020年8月19日発行)

SGHクラブ 海外班

セント・テレサ校(マレーシア)との協働学習開始

~マレーシア・サラワク州クチンの中等学校とのオンラインミーティング~

令和2年7月17日(金)16時から17時まで本校英語演習室にてマレーシアのセント・テレサ・セカンダリー・スクールの生徒とオンラインミーティングを初めて行いました。セント・テレサ校は、昨年本校のSGH海外班が実際に訪問した学校です。今年度は、コロナ禍のため訪問することはできませんので、オンラインの協働学習です。

両校から15名ずつ募集し、本校から3名+セント・テレサ校から3名合わせて6名のチームを5つ作成しました。初回のミーティングは、国際交流も兼ねて自己紹介やダンスを披露しました。セント・テレサ校の生徒や先生方も楽しんでくれたようです。この様子は、8月3日(月)に栃木テレビで放送されました。

オンラインミーティングの内容

- 1 自己紹介(協働学習グループごと)
- 2 学校紹介
- 3 ダンス(パブリカ英語バージョン)
- 4 Quiz(てるてる坊主は何のため?など)
- 5 Q&A(コロナ禍でサラワクは8月末までRecovery Movement Control Order(回復のための活動制限令)があるようだが、友達が訪ねてきてしまったらどうするのかなど)



セント・テレサ校の生徒、先生たち



Q&A タイム



ダンス（パプリカ英語版）



学校紹介

◆マレーシアの状況

マレーシア、サラワクにあるセント・テレサ校は3月18日から8月16日まで、新型コロナウイルス感染防止のために休校となっていましたので、セント・テレサ校の生徒は皆自宅からの参加となりました。偶然にも、本校の2学期のスタートとセント・テレサの学校の再開の日が同じ日となりました。セント・テレサ校のスージー先生は、学校が再開できてうれしいが、子供を学校に送ることに不安を持っている保護者を説得するのは難しいとメッセージを送ってくれました。

◆国際協働オンライン学習【Collaborative Online International Learning (COIL)】

いくつかの大学の授業で行われている COIL の考え方と似た手順を踏み、協働学習を開始しました。現在、佐高とセント・テレサ校の合同チーム5つは、ブレインストーミングをしながら、お互いの国の状況を調べて、情報交換をしています。この後は、比較検証していきながら、さらに、テーマを絞っていき、研究を進めていきます。そして、最終的には、パワーポイントファイルを作成するなど研究をまとめ、成果発表会などで発表したいと考えています。

昨年同様、ST 高校の皆さんの英語力やコミュニケーション力の高さに圧倒されながらも、ダンスやクイズ、質疑応答では積極的にとても楽しく交流ができました。これからの研究では、マレーシアと日本の高校生の双方向の視点から課題に協力して取り組み、成果を出せるように努力しようと思います。

海外班リーダー 2年1組 相田紘夏

昨年会った高校生達と同じように明るくフレンドリーで懐かしくも感じられ、今年の研究が一層楽しみになりました。また、今回のセッションでセント・テレサ高校の皆さんのコミュニケーション力に改めて驚きました。そして積極的に発言してくれて、失敗もありましたが終始笑顔で交流できました。これからグループの高校生達と本格的な研究が始まりますが、ミスに怯まず様々な事にチャレンジしていきたいです。

オンラインミーティング司会 2年2組 内田小温

前回のスリランカとのオンライン交流の際の相手は小学生でしたが、今回のマレーシアは高校生ということで、英語の質も高く、聞きとるが難しかったです。共同研究ということで、相手の研究グループとの自己紹介では、緊張はしましたが自分らしく挨拶ができ、相手と打ち解けることができとても嬉しかったです。これからの研究に精一杯に尽くしていきたいと思います。 1年1組 山崎彩加

